

北支戦線

敵の堅壘保定を占領

平漢線支那軍南方の大潰走

(北平廿四日)午後九時四十分我軍は保定城壁の一角に突入、日軍を捕縛す。

(北平廿四日)軍司令部午後三時十分発表、「平漢線方面に於ける我軍は午後一時半保定城の陥落を終り、その南方地区に於て敵軍を殲滅したり、斯くて平期せらるる保定北方地区に於ける大会戦は涿州合戦の大勝利と我軍の猛進撃により一挙に保定城を攻取ることを得たり。茲に於て河北に於ける要地保定は涿州合戦以来初めて我軍が占領することを得たり。」

作戦上に於ける

保定の重要性

(東京廿四日)午後三時発表、我軍は保定城壁の一角に突入、日軍を捕縛す。九日廿四日我軍は速に保定を占領し、時を同じうして涿州と又我が手に落ちるとの思はれる。

克服し力戦苦闘敵を潰滅した事は百来の戦史に稀なる事蹟である。此の占領は次の如き意義を有するものと特筆に價する。

一、支那軍は北支作戦に完全に失敗した。この方面に於ける支那軍の戦線に於ける印象は蓋し徹底的である。

保定の重要性

(保定) 涿州の陣地は支那軍の対日作戦上北方に於ける第一線陣地の樞軸として、数年前研究に研究を重ねた結果、昨年九月決定の対日作戦計画に基づき、特設の海軍陸揚隊の陣地と共に昨年初頭以来長時日互に奮闘をくりつて構築した堅陣であったが、我軍が統帥の優越と訓練の精進により、よく寡兵を以て敵の敵に對し、更に天候地形の極めて不利な条件下に

寺内軍司令官の祝詞

(天津廿四日)寺内軍司令官より第一線兵團長に對して祝詞を述べた。

各兵團その勇戦奮闘により敵の北支に於ける重要根拠地保定附近を占領し、且つ敵軍に多大の損害を與へ、皇軍の武威を宣揚し得たるに慶祝に堪へず。

二、保定涿州の面積占領は北支に於ける支那軍の

死命は文により北支に對する凡ゆる戦略的企圖の放棄を余

三、我軍は南方に對する進軍の被與を確保し將來の作戦を有利ならしめる事となり。

四、山西山東方面に對する戦略的影響を及ぼすことを得たり。

以上の如き重大意義を有するものであるが、本作戦の成功は本不事變の勝利を確保したに過ぎないものであり、我軍は保定に及ぶの色が見えぬものであるから、我軍の努力を要するものは全く之がである。勝つて兜の緒を解めよの古語の如く益々暴文腐敗の一途に

三、我軍は南方に對する進軍の被與を確保し將來の作戦を有利ならしめる事となり。

保定陥落の報に

帝都は正に万歳の嵐

連中提灯行列の用意

(東京廿四日)保定城壁に日軍旗を掲げし報がキーンと高らかに陸軍省の無線台を叩くや、その報はたゞ省内外は旗がにぎやめをたつた。思へば皇軍が今迄勇躍又勇躍一躍突進したその保定の陥落、敵が北支に於ける最後の堅壘と持たされたその保定の陥落、新

開近の控室にはドシドシ、ビルが揺れる。するめが連日とまれる。街にはラヂオが一本に爆発する。電車の中と、バスの中と、やりました。ふあ、と歓喜と皇軍への感謝が溢れ、正に帝都は万歳の嵐だ。氣の早い日本橋の西園町会では保定陥落の報と共に勝利の大提灯行列をやろうと大量のぼつぼつ提灯を用意した。向島台町の社会事業部では隊伍を組んで宮城前に行進、提灯を行かんと街々には歓喜の高がまき起った。

保定城攻陥状況

敵兵城壁を待みに必死の抵抗

涿州合戦以来の大激戦

(天津廿四日)保定は遠く落ちた。保定へ保定へ、連日定海を犯して前進する中部戦線兵の片時とたれ舞ふの相言葉は此であつた。廿三日正午早くも我が先頭安田部隊が保定城外に達した。互始めに本、石黒長谷川坂西諸部隊が續々と

城壁の上を這ひ、日の御旗を掲げた。着、夜更こめて保定城を完全に包圍し廿四日早晩より一斉に砲門を開き、敵の砲撃に答へた。我軍の砲撃の高が十餘米、厚が五米、敵はこの堅固なる城壁を唯一の待みに必死の抵抗を試みた。砲撃の如く轟々、益々激

州平野以来の大激戦再度展開。午前八時城内一角に黒煙天に沖し大火災が起つた。敵は西に東に城

内致る處に火災が起る。九時四十分我が砲撃の威力は益々増し、大城壁と北側一角に轟然大爆発。つかりと穴があいた。同一襲撃入山子部隊一部は大日章旗を先頭に城内突入。急襲の敵陣より城壁上を這ひ、日の御旗を掲げた。

世界最高級の豪華雑誌「日本」到着

LIBRERIA HUNGARO LAVALLE 365

東京秋竹の雑誌

ALEJANDRO BARRA L.T. 31-4513

ヒューケツセン大使負傷事件

我が回答に英政府満足

(東京廿三日)ヒューケツセン大使負傷事件に關し、外相は廿一日駐日英大使を通じて英政府に正式回答を發した。右内容廿三日午前電報發表された。要旨左の通り。

!! 決解々愈

調査結果に
一、日本飛行機には同大使が当初負傷したと報告せられた地味で、機内銃を掃射し若しくは爆弾を投下せられたと判断した。然し日英間で同時に調査した結果、同大使自動車は英領内、当初云はれた大倉の南方六哩に非ずして、嘉定の南方ありしと知りしとの結論に達した。

一、八月廿六日午後二時三十分日本飛行機は嘉定の南東三キロの地味で支那軍將兵機中の軍用バス若しくはトラックと衝突せられたる自動車二台を直撃せられたる。当時、同軍用飛行機は敬次に三三三三の行はれた。

南京から南昌へ 蒋介石脱出?

(天津廿三日) 確報によると、蒋介石は奉天軍及び直隷軍其他を引退し南京から南昌へ脱出したと傳へられる。

国民党政府の悲鳴の聲

崩壊南京の巷に滿つ (上海廿二日) 我が海軍航空隊

件は同大使の自動車に軍用バス若しくはトラックと衝突したるやと計られずやと思考するとので故意に出たに非ざるかと日本飛行機の行動によりたるかと計り難く、帝國政府は調査する態度の意を表するとのである。

(東京廿三日) 以上の我が正式回答に対し、ヒューケツセン大使は廿三日午前、田田外相宛書翰を以て本國政府の訓令に基づき、英政府は日本の回答を満足とし、右を以て本件を解決せりと見出す旨通告した。

(東京廿三日) 田田外相は廿三日午前、滿洲國駐劄田田特命全權大使に於て、滿洲國の支那軍要約を以て、終始帝國の作戦に協力し、日滿共同防衛に奉行的支援をなして、わが國に對し帝國政府の謝意を厚達する様訓令した。内容は左の通り。

皇軍破竹の勢いで進軍

山東省境の 愈々潰乱の外なき情勢
中央軍は 竹の勢いで

(天津廿三日) 皇軍破竹の勢いで、山東省境の愈々潰乱の外なき情勢。中央軍は竹の勢いで、山東省境の愈々潰乱の外なき情勢。

(東京廿三日) 正午陸軍省発表、上海方面の戦況は、逐次進展し、即ち北正面に於ては、当面の敵を撃退し、廿二日、家宅(羅天鎮、東橋一キロ)附近より王家宅附近に巨る秋窪クリック、東岸地区に進出し、又梅宅附近に、頑強なる敵の抵抗を排除し、遂にその一部を占領せり。

北支線戦況

(天津廿三日) 我軍は廿二日午前十一時、津浦平漢兩線の中間、敵の重要地、臭大城を占領し、廿二日午前我の先鋒部隊は早くと滄州を去る五キロの地点に迫り、

(香港廿三日) 本日午前六時、我機は又とや廣東空襲大爆撃を敢行し、昨日の四回に巨る爆撃による火災止まるに更に各所に火災を生じ、廣東は四方より火に包まれ大混亂に陥つてゐる。

(北平廿三日) 本日午後一時、我軍は保定方面の敵を掃蕩、保定城壁に達し、目下激戦中。

我が爆撃に廣東大火災

我が爆撃に廣東大火災

北正面の敵を撃退

北正面の敵を撃退

南正面の敵を撃退

南正面の敵を撃退

海上戦況

海上戦況

ソ支相互援助密約の計画暴露

日支の全面的交戦を企図

(上海廿四日)ソ支不可侵協定締結を契機に日支交戦を全面的に導くソ支相互援助密約が計画されてゐること判明、その内容は支邦は支邦に於けるコミンテルンの全面的活動に對するに於てはソ邦は支邦に多數の武器彈藥を援助する、これは對し支邦は西比利亞より外蒙、新疆、甘肅經由支邦本邦に通ずる鐵道敷設權その他權利を主張することを含むとしてゐる。

上海方面戦局

(上海廿三日)我軍は二十三日一月は重り我軍を悩ました羅天鎮南方の敵重要據点大白雲嶺を、四十未の坑道を掘り敵砲台完全を爆破粉砕した、これはより劉口鎮劉家鎮を貫く大道路を台獄した。

支邦の彈藥補給力

約五ヶ月程度か

(上海廿三日)我軍の南京始め全面的空襲と沿海航行遮断で支邦軍は極度に武器彈藥缺乏、外國軍事専門家は支邦の彈藥補給力は五ヶ月程度と見てゐる。

支邦某國商人の輸入契約

(東京廿四日)支邦側はラムダム彈を輸入に使用してゐるが廿四日某所入の御加護を御祈念ありせられた、この日、各軍機方、文武百官参列、天皇陛下には香爐焚御札、御東帯召され、午前十時皇靈殿に出御、御親持の後皇后陛下にも御直拝、皇靈科を行はせられ、次いで神殿にても御同様御親裁あり、神殿祭の御儀を行はせられた

天皇陛下御親裁の下に

秋の皇靈祭発行せらる

(東京廿三日)二十三日は秋季皇靈祭につき宮中では皇靈殿神祭に於ておこなわれ、天皇陛下御親裁の最中、御祭典を行はせられ、神意を慰め給ひ、非常時局に際し神靈

山東省戦況

電に依れば、更にラムダム彈四十五万発の購入を某國商人と契約、近く到着の手定である

(濰縣廿四日)分〇〇艦隊航空隊は廿三日更に山東省兗州を爆撃、軍事施設、兵舎等も悉く破壊した。

(濰縣廿四日)分〇〇艦隊所屬の〇〇は廿三日午後連雲港外で孫家山附近より西方に移動中の敵軍用列車に砲撃を加へこれを粉砕した外、敵陣地に榴彈を加へた。

我海軍機敵十大學

また廣東南昌を爆撃

(東京廿四日)廿四日午前海軍航空隊はよると我が〇〇艦隊所屬飛行機十機は南昌、南昌は更に敵二機を撃つ、天可憐飛行機は他は火機を撃つ、敵機は破壊され、敵機は原形を失つた、大爆撃に更に敵二機を撃つ、又同日午後七時南昌を空襲し、新飛行場二機を爆撃した。

日本も独逸も

聯盟諮問委員会の招請を拒否

(東京廿四日)政府は廿四日の閣議で聯盟の二十三年國諮問委員会に代表を出席することに決定した。

支邦軍毒瓦斯彈を使用

(東京廿四日)廿四日正午陸軍省発表に依れば敵は劉口鎮附近の戦場に毒瓦斯彈を使用した。

日支紛争と九ヶ國條約

(シエネツツ廿三日)独逸政府は廿三日聯盟に對し、日支紛争に關する二十ヶ國諮問委員会の招請を拒否する旨正式通告した。

英の尻馬に米は来るまい

(ワシントン廿三日)英政府が極東の紛争を速かに終結せざるため九ヶ國條約を考慮中の報に對し、米政府では充分の準備をなすべくしては成功は覚束ない、従つて各國も懸念に動かぬだらうし米政府もスチムソン外交の二の舞ひを演じるこののびいやう警戒するだらうし悲觀的觀測は一致してゐる。

支邦側の氣力弱る

廿四日外務省へる支邦側は我が南京空襲を以て依りて支邦側の氣力も日本の千文五文より早く収め得るべき状態に達した。

求人

洗濯店ラバンテロ
至急入用、無経験
にても可、委細は左記へ
パシフィックカセロス駅前
テナントレリア銀座

愛國機敵納基金

募集趣意書

日支争突出征軍將士恤兵金前後二回に亘る募集に對し、全在留同胞の赤誠は表現され又慰問袋各地方より集まり銃後の支持強固なる事、實に我等帝國民として俱に誇りとするに足るものとして發起者たる本会感銘に至りに堪はず、然り而して献金申込者続出する一方時局の变化尚予測の限りは非らず、依而本会は昨五回役員会の決議に基き

愛國飛行機敵納基金を全在留同胞の御賛助を得て其の基金を募集す、乞ふ、幸にして此の趣旨を諒せられん幸に一掃切期日十二月三十一日一申込所 本会事務所、野村新聞社一寄附者芳名は払込票に順次発表収録に代ふ
一今日迄の基金として払込済の分は愛國機敵納基金として納入方御承知を乞ふ
昭和十二年九月廿三日

同胞各位

社団法人在日同胞會
後援 四邦字新聞社
皂甲方醬油新着!
西坂實太商店

